

平成28年度人権問題都民講座

21世紀の部落問題

— 部落差別とアイデンティティ —

手話通訳あり

その他、情報保障については
お問い合わせください。

日時：平成28年12月3日（土）

14:00-16:30（開場：13:30）

講師：^{うちだ りゅうし}内田 龍史 さん：尚絅学院大学現代社会学科准教授

^{かみかわ たみ}上川 多実 さん：BURAKU HERITAGE メンバー

会場：東京都人権プラザ ホール兼視聴覚室（3F）
台東区橋場1-1-6（裏面地図参照）

定員：100名（参加無料・要事前申込・先着順）

主催：東京都人権プラザ（指定管理者・公益財団法人東京都人権啓発センター）

[お申し込み・お問い合わせは]

公益財団法人 東京都人権啓発センター

〒111-0023 東京都台東区橋場1-1-6

電話 03-3876-5372 FAX 03-3874-8346

部落問題（同和問題）とは、封建時代の身分制度や歴史的、社会的に形成された人々の意識に起因する差別が、様々なかたちで現れている重大な人権問題です。現在もなお、被差別部落の出身という理由で様々な差別を受け、基本的人権を侵害されている人々があります。

本講座では、前半、現代の部落問題の状況を解説していただき、後半、若い世代が中心となって活動しているBURAKU HERITAGEのメンバーに登壇していただきトークセッションを行います。彼らは何を求めて活動を始めたのか。先行する世代が取り組んできたこととどのように異なる視点を持っているのか。参加者との意見交換も交えながら、「部落問題」への理解を深める機会とします。この機会にぜひご参加ください。

【講師プロフィール】

内田龍史(うちだ・りゅうし)さん

尚綱学院大学現代社会学科准教授

1976年大阪生まれ。大阪市立大学大学院文学研究科人間行動学専攻社会学専修修了。博士(文学)。専門は、差別と共生の社会学・マイノリティ論。著書に、『部落問題と向きあう若者たち』(編著・解放出版社)、『差別とアイデンティティ』(共編著・阿吽社)など。

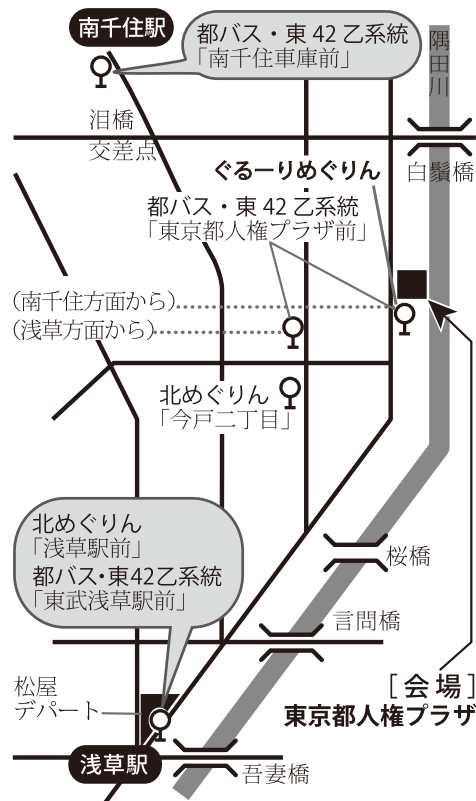
上川多実(かみかわ・たみ)さん

BURAKU HERITAGEメンバー

1980年東京生まれ。関西の被差別部落出身の両親のもと、東京で育つ。映画美術学校在学中の2000年、自分にとって「リアル」な部落問題の映画を作ろうと、ドキュメンタリー「ふつうの家」を制作。2011年、部落問題の情報発信サイトBURAKU HERITAGEを開設し、メンバーとなる。

【会場案内:浅草方面/三ノ輪方面/南千住方面からのバスルート】

- 「東武浅草駅前」から南千住車庫前行き「東京都人権プラザ前」下車、約350メートル(都バス東42乙系統)。
- 「東武浅草駅前」から南千住車庫前行き、または南千住駅西口行き「東浅草(東京都人権プラザ入口)」下車、約600メートル(都バス東42甲系統)。
- 「浅草駅」から台東区循環バス「北めぐりん」6番「今戸二丁目」下車、約350メートル。
- 「三ノ輪駅」から台東区循環バス「ぐるーりめぐりん」14番「東京都人権プラザ前」下車すぐ。
- 「南千住車庫前」から浅草雷門行き「東京都人権プラザ前」下車すぐ(都バス東42乙系統)。



電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先

公益財団法人 東京都人権啓発センター

電話

03-3876-5372

Eメール

fukyu2805@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム

FAX 03-3874-8346

①お名前 (代表者)	参加人数		人
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX	
	メール	@	
③ご所属またはご住所	〒		

※お申し込みは先着順でお受けいたします。定員に達し次第締め切らせていただきます。
なお、ご提供いただいた個人情報、今回の申込手続き以外使用いたしません。